

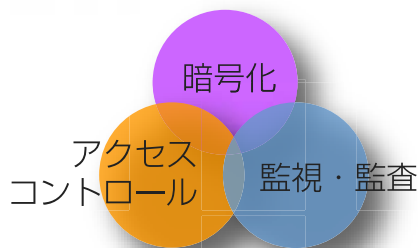


個人情報保護法成立から3年、

400万人のデータ漏洩発生

企業に問われるセキュリティ対策とは？

セキュリティ対策は、



対策：データを暗号化する事で防ぐ情報漏洩

■2003年5月23日に個人情報保護法が成立し、セキュリティ対策を強化する企業が増えております。

某コンビニエンスストアのクレジットカード会員約56万人、某信販会社の会員約8万人、某コンビニエンスストアのメールアドレスが購入者約18万人の個人データが外部に流出する事故等が明るみになりました。

これらの事故では、お客様に対する詫言の発送と合わせ、相当額の謝礼の支払いも発生し、各社の損害額は少なくとも数億円に達していると言われております。謝罪すれば済む時代から、金額面でも対応しなければならぬ時代へとなりました。

又、当該企業にとどまらず、関連するシステム構築企業や運用を請け負ったソリューションプロバイダにも損害を及ぼすことがあります。事実、某信販会社のシステム構築を担当した大手ソリューションプロバイダは約1億円近い賠償額を支払っています。

運用とシステムの問題点

1. アクセス権限設定者とログ保存設定者が同権限者であったこと
2. 物理的なセキュリティ強化のみで安心してしまったこと

某大手通信会社の情報漏洩事故の現況

さらに犯罪者も、個人情報保護法成立以前より高額な報酬を要求するという問題も起こっております。

最近発生した某大手通信会社での情報漏洩事故では、約400万人分の性別・生年月日・連絡先アドレスの個人情報流出するという事故が起きました。

この情報漏洩が発生したPCが、ICカードがなければ入退出が出来ない部屋に置かれたシステム接続専用のPCから漏洩され、さらに恐喝を受ける事故となりました。

インターネットへ接続されていないPCから情報が持出される事故は内部からの持出しがほとんどですが、今回のケースでも嚴重なセキュリティを施されているにもかかわらず事故が発生したという事実は、現状の対策定義に問題があると考えます。



運用とシステムの対策

1. セキュリティ管理者とシステム管理者を分ける
2. 権限者を最小限に抑える運用ポリシーを構築する
3. 暗号化を行い、不測事態の対策も行う

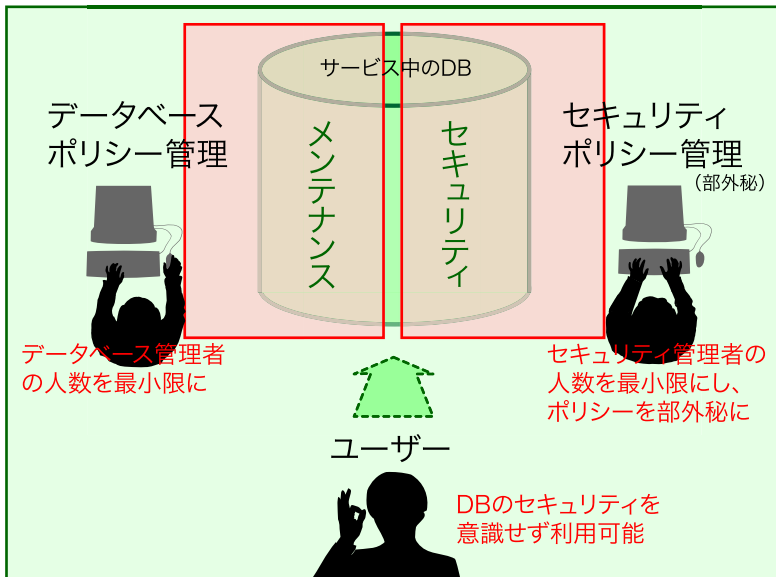
セキュリティ運用については、入退出を許可されていた従業員（社員、委託業者）は約200名。室内で使用できるPCも約200台。すべてのPCに認証を用い、利用履歴はログの保存期間として定義されていた1年間を保存していたが、今回は事故から漏洩発覚迄1年以上経過していたため、犯人の特定が出来なかったといえます。

漏洩後、物理的なセキュリティ強化策として、指紋認証を採用し、監視カメラを導入し、入室者の監視を行うようにしたとのことですが、本当に良い対策だったのでしょうか？

本当に犯罪者の抑止効果になっているのでしょうか？

企業のセキュリティ対策に盲点があることを自覚しなければなりません。

▼ 提案システム構成図



システムの課題点としては、物理的なセキュリティ強化策のみで安心してしまっていた事です。
その対策としては、漏洩されても情報が情報としての価値を持たない様な対策、すなわちデータの「暗号化」を行うことが必要と考えます。

運用対策とシステム対策
情報漏洩事故の分析により、運用対策とシステム対策は別であると考えます。
運用の問題点としては、
1 委託業者を含む約200名に対するアクセス権限の設定者
2 社内ログ保存期間を1年間とした設定者が、同権限者であった事です。
その対策としては、「システムの管理者」、「顧客情報の管理者」、「セキュリティ管理者」に分け、定義や運用ポリシーを共有しないことが重要であると考えます。

運用対策とシステム対策

これからは、
「持ち出されない対策から、持ち出されても安心な対策へ」



ポイントを整理しよう

1. 暗号化を含めたセキュリティ三大要素

弊社暗号化パッケージソフト「D'amo」では、パフォーマンス劣化を最小限に抑えたカラム単位の「暗号化」。適切なアクセス権限を付与するための「アクセスコントロール」。誰がどのようにアプローチしてきたのかをロギングする「監視・ログ」の三大要素をカバー出来、今後の不測事態に耐えられるセキュリティ対策であると考えます。

製品の特徴

- ◆ GUI環境により、安全・簡単に暗号化
- ◆ AES, DES, TDES, SEEDの4種類のアルゴリズムで暗号化
- ◆ カラム単位で暗号化を実装できるため、パフォーマンスの劣化を最小限に抑える
- ◆ 業務アプリケーション等の再設定、再開発が必要ない

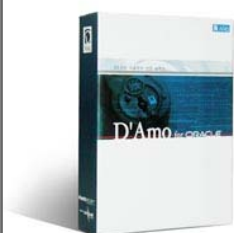
Data Security

“暗号化”を含めたセキュリティの三大要素

- 弊社暗号化パッケージソフト「D'amo」は、
- 1 パフォーマンス劣化を最小限に抑えたカラム単位の「暗号化」。
 - 2 適切なアクセス権限を付与するための「アクセスコントロール」。
 - 3 誰がどのようにアプローチしてきたのかをロギングする「監視・ログ」。
- この三大要素をカバーしております。

「D'amo」こそが今後の不測事態に耐えられるセキュリティ対策であると考えます。

D'Amoのご紹介



【ソフト仕様】
Supported Oracle Versions
Oracle 8i, 9i, 10g

【ライセンス費用】
Oracle Enterprise Edition :
¥2,000,000 / 1CPU
Oracle Standard Edition :
¥ 900,000 / 2CPU
まで



お問い合わせ先

Blank area for contact information.